

大学番号：026

注3

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

共同設置

注1

岩手大学大学院 獣医学研究科 共同獣医学専攻

東京農工大学大学院 農学府 共同獣医学専攻

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

岩手大学：国立大学法人 岩手大学
東京農工大学：国立大学法人 東京農工大学

令和元年5月1日現在

岩手大学：作成担当者	
担当部局（課）名	経営企画本部 戦略企画室
職名・氏名	戦略企画グループ主査 <small>センリョクキカク</small> 星 <small>シユザ</small> 達彦 <small>ホシ タツヒコ</small>
電話番号	019-621-6032
（夜間）	019-621-6032
F A X	019-621-6014
e-mail	senryaku@iwate-u.ac.jp
東京農工大学：作成担当者	
担当部局（課）名	総務部総務課
職名・氏名	法規係長 <small>ヨシカフ トオル</small> 吉川 徹
電話番号	042-367-5505
（夜間）	042-367-5505
F A X	042-367-5553
e-mail	houki@ml.tuat.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	20
6. 留意事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42
＜別添資料＞	
資料1 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則	47
資料2 東京農工大学グローバル教育院運営規則	49

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者、大学名

国立大学法人岩手大学：岩手大学
 国立大学法人東京農工大学：東京農工大学

(2) 調査対象大学等の位置

(岩手大学)
 〒020-8550
 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号
 (東京農工大学)
 〒183-8509
 東京都府中市幸町三丁目5番8号
 (〒183-8538 東京都府中市晴見町三丁目8番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
岩手大学	学長	(イワブチ アキラ) 岩渕 明 (平成27年3月)		
	研究科長	(サトウ シゲル) 佐藤 繁 (平成30年4月)		
	専攻長	(サトウ シゲル) 佐藤 繁 (平成30年4月)		
東京農工大学	学長	(オオノ ヒロユキ) 大野 弘幸 (平成29年4月)		
	学府長	(チバ カズヒロ) 千葉 一裕 (平成29年4月)		
	専攻長	(シブタニ マコト) 渋谷 淳 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)
 令和元年度に報告する内容 → (元)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

大学名	調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
			修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
岩手大学	獣医学研究科 共同獣医学専攻 博士(獣医学)	獣医学関係	4年	5人	年次人	20人	基礎となる学部等 農学部共同獣医学科
東京農工大学	農学府 共同獣医学専攻 博士(獣医学)	獣医学関係	4年	10人	年次人	40人	基礎となる学部等 農学部共同獣医学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

大学名	対象年度 区分	平成30年度		令元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年 度までの平均入学定 員超過率	備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
岩手大学	A 入学定員	5 (-) [若干名]	人	5 (-) [若干名]	人	()	人	()	人	1.50倍	-	
	志願者数	11 (9) [1]	3 (2) [1]	4 (2) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []			
	受験者数	11 (9) [1]	3 (2) [1]	4 (2) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []			
	合格者数	10 (9) [0]	2 (1) [1]	3 (1) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []			
	B 入学者数	10 (9) [0]	2 (1) [1]	3 (1) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []			
	入学定員超過率 B/A	2.40		0.60								
東京農工 大学	A 入学定員	10 (-) [若干名]	人	10 (-) [若干名]	人	()	人	()	人	1.45倍	-	
	志願者数	12 (6) [3]	3 (-) [1]	15 (-) [4]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []			
	受験者数	12 (6) [3]	3 (-) [1]	15 (-) [4]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []			
	合格者数	12 (6) [3]	3 (-) [1]	15 (-) [4]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []			
	B 入学者数	11 (6) [2]	3 (-) [1]	15 (-) [4]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []			
	入学定員超過率 B/A	1.40		1.50								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 - ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	平成30年度		令元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
岩手大学	1年次	10 [-] (-)	2 [1] (-)	3 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
	2年次	/		10 [-] (-)	2 [1] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
	3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
	計	12 [1] (-)		15 [1] (-)		[] ()		[] ()		
東京農工 大学	1年次	11 [2] (-)	3 [1] (-)	15 [4] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	2年次	/		9 [2] ()	3 [1] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
	4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
	計	14 [3] (-)		27 [7] (-)		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
				入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
岩手大学	平成30年度	12人	0人	平成30年度	0人	0人	
	令和元年度	15人	0人	平成30年度	0人	0人	
				令和元年度	0人	0人	
	令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
				令和元年度	人	人	
				令和2年度	人	人	
	令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
				令和元年度	人	人	
				令和2年度	人	人	
				令和3年度	人	人	
合計		0人		0人	0人		
東京農工大学	平成30年度	14人	2人	平成30年度	2人	0人	他の教育機関への転学(1名)、その他(1名)
	令和元年度	27人	0人	平成30年度	0人	0人	
				令和元年度	0人	0人	
	令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
				令和元年度	人	人	
				令和2年度	人	人	
	令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
				令和元年度	人	人	
				令和2年度	人	人	
				令和3年度	人	人	
合計		2人		2人	0人		

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

<岩手大学>

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

<東京農工大学>

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{14} = \boxed{14.28} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{27} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤科目	獣医学基盤講義A	1前	東京農工大学/岩手大学	2			25	20	5	5		兼2
	獣医学基盤講義B	2前	東京農工大学/岩手大学	2			25	20	5	5		兼2
	研究デザイン演習	1前	東京農工大学/岩手大学	2			25	20	5	5		
	研究プレゼンテーション演習	2前	東京農工大学/岩手大学	2			25	20	5	5		
	研究倫理(東京農工大学)	1-2前	東京農工大学	1			9	1				
	研究倫理(岩手大学)	1-2前	岩手大学	1			2			1		
	科学英語	1-2前	東京農工大学/岩手大学	2			1	1				兼1
小計(7科目)	-			12			25	20	5	5		3
動物基礎医学(講座科目)	動物基礎医学特論A(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			3	6				
	動物基礎医学特論B(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			3	6				
	動物基礎医学特論C(東京農工大学)	2後	東京農工大学	2			3	6				
	動物基礎医学特論A(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5	2				
	動物基礎医学特論B(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5	2				
	動物基礎医学特論C(岩手大学)	2後	岩手大学	2			5	2				
	小計(6科目)	-			12			8	8			
獣医衛生科学(講座科目)	獣医衛生科学特論A(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			6	3	2			
	獣医衛生科学特論B(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			6	3	2			
	獣医衛生科学特論C(東京農工大学)	2後	東京農工大学	2			6	3	2			
	獣医衛生科学特論A(岩手大学)	1後	岩手大学	2			4	1				
	獣医衛生科学特論B(岩手大学)	1後	岩手大学	2			4	1				
	獣医衛生科学特論C(岩手大学)	2後	岩手大学	2			4	1				
	小計(6科目)	-			12			10	4	2		
獣医臨床医学(講座科目)	獣医臨床医学特論A(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			2	5	3			
	獣医臨床医学特論B(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			2	5	3			
	獣医臨床医学特論C(東京農工大学)	2後	東京農工大学	2			2	5	3			
	獣医臨床医学特論A(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5	2				
	獣医臨床医学特論B(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5	2				
	獣医臨床医学特論C(岩手大学)	2後	岩手大学	2			5	2				
	小計(6科目)	-			12			7	7	3		
動物基礎医学(研究指導科目)	動物基礎医学特別演習A(東京農工大学)	1~4通	東京農工大学	8			3	6				
	動物基礎医学特別演習B(東京農工大学)	1通	東京農工大学	2			3	6				
	動物基礎医学特別演習C(東京農工大学)	2通	東京農工大学	2			3	6				
	動物基礎医学特別演習A(岩手大学)	1~4通	岩手大学	8			5	2				
	動物基礎医学特別演習B(岩手大学)	1通	岩手大学	2			5	2				
	動物基礎医学特別演習C(岩手大学)	2通	岩手大学	2			5	2				
	小計(6科目)	-			24			8	8			

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤科目	獣医学基盤講義A	1前	東京農工大学/岩手大学	2			29	21	6	3		兼2
	獣医学基盤講義B	2前	東京農工大学/岩手大学	2			29	21	6	3		兼2
	研究デザイン演習	1前	東京農工大学/岩手大学	2			29	21	6	3		
	研究プレゼンテーション演習	2前	東京農工大学/岩手大学	2			29	21	6	3		
	研究倫理(東京農工大学)	1-2前	東京農工大学	1			9	1				
	研究倫理(岩手大学)	1-2前	岩手大学	1			2			1		
	科学英語	1-2前	東京農工大学/岩手大学	2			1	1				兼1
小計(7科目)	-			12			29	21	6	3		3
動物基礎医学(講座科目)	動物基礎医学特論A(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			4	7	1			
	動物基礎医学特論B(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			4	7	1			
	動物基礎医学特論C(東京農工大学)	2後	東京農工大学	2			4	7	1			
	動物基礎医学特論A(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5	2				
	動物基礎医学特論B(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5	2				
	動物基礎医学特論C(岩手大学)	2後	岩手大学	2			5	2				
	小計(6科目)	-			12			9	9	1		
獣医衛生科学(講座科目)	獣医衛生科学特論A(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			6	4	2			
	獣医衛生科学特論B(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			6	4	2			
	獣医衛生科学特論C(東京農工大学)	2後	東京農工大学	2			6	4	2			
	獣医衛生科学特論A(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5					
	獣医衛生科学特論B(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5					
	獣医衛生科学特論C(岩手大学)	2後	岩手大学	2			5					
	小計(6科目)	-			12			11	4	2		
獣医臨床医学(講座科目)	獣医臨床医学特論A(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			4	3	3			
	獣医臨床医学特論B(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			4	3	3			
	獣医臨床医学特論C(東京農工大学)	2後	東京農工大学	2			4	3	3			
	獣医臨床医学特論A(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5	2				
	獣医臨床医学特論B(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5	2				
	獣医臨床医学特論C(岩手大学)	2後	岩手大学	2			5	2				
	小計(6科目)	-			12			9	5	3		
動物基礎医学(研究指導科目)	動物基礎医学特別演習A(東京農工大学)	1~4通	東京農工大学	8			4	7	1			
	動物基礎医学特別演習B(東京農工大学)	1通	東京農工大学	2			4	7	1			
	動物基礎医学特別演習C(東京農工大学)	2通	東京農工大学	2			4	7	1			
	動物基礎医学特別演習A(岩手大学)	1~4通	岩手大学	8			5	2				
	動物基礎医学特別演習B(岩手大学)	1通	岩手大学	2			5	2				
	動物基礎医学特別演習C(岩手大学)	2通	岩手大学	2			5	2				
	小計(6科目)	-			24			9	9	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
獣医学 研究指導科目	獣医学特別演習A(東京農工大学)	1~4通	東京農工大学	8			6	3	2			
	獣医学特別演習B(東京農工大学)	1通	東京農工大学	2			6	3	2			
	獣医学特別演習C(東京農工大学)	2通	東京農工大学	2			6	3	2			
	獣医学特別演習A(岩手大学)	1~4通	岩手大学	8			4	1				
	獣医学特別演習B(岩手大学)	1通	岩手大学	2			4	1				
	獣医学特別演習C(岩手大学)	2通	岩手大学	2			4	1				
小計(6科目)	-	-	-	24			10	4	2			
獣医学 研究指導科目	獣医学特別演習A(東京農工大学)	1~4通	東京農工大学	8			2	5	3			
	獣医学特別演習B(東京農工大学)	1通	東京農工大学	2			2	5	3			
	獣医学特別演習C(東京農工大学)	2通	東京農工大学	2			2	5	3			
	獣医学特別演習A(岩手大学)	1~4通	岩手大学	8			5	2				
	獣医学特別演習B(岩手大学)	1通	岩手大学	2			5	2				
	獣医学特別演習C(岩手大学)	2通	岩手大学	2			5	2				
小計(6科目)	-	-	-	24			7	7	3			
獣医学 学際科目	学際領域特別講義	1後	東京農工大学/岩手大学	2			25	20	5	5		兼2
	国際感染症防疫学	2前	東京農工大学	1			1	1	1			
	先進動物医療学	3前	東京農工大学	1			2	3	2			
	食品衛生管理学	2前	岩手大学	1			2	1				兼1
	動物と人の共存学	3前	岩手大学	1			2	1				
小計(5科目)	-	-	-	6			25	20	5	5		2
先端 実践科目	動物基礎医学外演習(理化学研究所)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学	1								兼1
	獣医学外演習(国立感染症研究所)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学	1			2					
	獣医学外演習(医薬品食品衛生研究所)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学	1								兼1
	獣医学外演習(農研機構)	1-2-3, 4前-後	岩手大学	1			1					
	獣医学外演習(日本中央競馬会)	1-2-3, 4前-後	岩手大学	1								兼1
	獣医学特別演習(東京農工大学)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学	1			11	14	5			
	獣医学特別演習(岩手大学)	1-2-3, 4前-後	岩手大学	1			14	5				
	海外演習A(東京農工大学)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学	1			11	14	5			
	海外演習B(東京農工大学)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学	2			11	14	5			
	海外演習A(岩手大学)	1-2-3, 4前-後	岩手大学	1			14	5				
海外演習B(岩手大学)	1-2-3, 4前-後	岩手大学	2			14	5					
小計(11科目)	-	-	-	13			25	19	5			3
合計(59科目)	-	-	-	12	127		25	20	5	5		6
卒業要件及び履修方法												
<p>本専攻における修了要件は、共通基盤科目から12単位、講義科目から6単位、研究指導科目から12単位、獣医学学際科目から2単位、先端実践科目から2単位の計34単位以上を修得し、かつ、博士論文の審査及び最終試験に合格するものとする。</p> <p>なお、修得単位数のうち相手大学から10単位以上を必ず修得するものとする。</p> <p>動物基礎医学講座、獣医学外演習、獣医学特別演習のうち1つの講座を選択し、講座科目については、自大学開講の特論A及び特論B、他大学開講の特論C(各2単位)を履修するとともに、研究指導科目については、自大学開講の特別演習A(8単位)及び特別演習B(2単位)、他大学開講の特別演習C(2単位)を履修する。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
獣医学 研究指導科目	獣医学特別演習A(東京農工大学)	1~4通	東京農工大学	8			6	4	2			
	獣医学特別演習B(東京農工大学)	1通	東京農工大学	2			6	4	2			
	獣医学特別演習C(東京農工大学)	2通	東京農工大学	2			6	4	2			
	獣医学特別演習A(岩手大学)	1~4通	岩手大学	8			5					
	獣医学特別演習B(岩手大学)	1通	岩手大学	2			5					
	獣医学特別演習C(岩手大学)	2通	岩手大学	2			5					
小計(6科目)	-	-	-	24			11	4	2			
獣医学 研究指導科目	獣医学特別演習A(東京農工大学)	1~4通	東京農工大学	8			4	3	3			
	獣医学特別演習B(東京農工大学)	1通	東京農工大学	2			4	3	3			
	獣医学特別演習C(東京農工大学)	2通	東京農工大学	2			4	3	3			
	獣医学特別演習A(岩手大学)	1~4通	岩手大学	8			5	2				
	獣医学特別演習B(岩手大学)	1通	岩手大学	2			5	2				
	獣医学特別演習C(岩手大学)	2通	岩手大学	2			5	2				
小計(6科目)	-	-	-	24			9	5	3			
獣医学 学際科目	学際領域特別講義	1後	東京農工大学/岩手大学	2			29	21	6	3		兼2
	国際感染症防疫学	2前	東京農工大学	1			1	2				
	先進動物医療学	3前	東京農工大学	1			3	2	2			
	食品衛生管理学	2前	岩手大学	1			3					兼1
	動物と人の共存学	3前	岩手大学	1			2	1				
小計(5科目)	-	-	-	6			29	21	6	3		2
先端 実践科目	動物基礎医学外演習(理化学研究所)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学	1								兼1
	獣医学外演習(国立感染症研究所)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学	1			2					
	獣医学外演習(医薬品食品衛生研究所)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学	1								兼1
	獣医学外演習(農研機構)	1-2-3, 4前-後	岩手大学	1			1					
	獣医学外演習(日本中央競馬会)	1-2-3, 4前-後	岩手大学	1								兼1
	獣医学特別演習(東京農工大学)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学	1			14	14	6			
	獣医学特別演習(岩手大学)	1-2-3, 4前-後	岩手大学	1			15	4				
	海外演習A(東京農工大学)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学	1			14	14	6			
	海外演習B(東京農工大学)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学	2			14	14	6			
	海外演習A(岩手大学)	1-2-3, 4前-後	岩手大学	1			15	4				
海外演習B(岩手大学)	1-2-3, 4前-後	岩手大学	2			15	4					
小計(11科目)	-	-	-	13			29	18	6			3
合計(59科目)	-	-	-	12	127		29	21	6	3		6
卒業要件及び履修方法												
<p>本専攻における修了要件は、共通基盤科目から12単位、講義科目から6単位、研究指導科目から12単位、獣医学学際科目から2単位、先端実践科目から2単位の計34単位以上を修得し、かつ、博士論文の審査及び最終試験に合格するものとする。</p> <p>なお、修得単位数のうち相手大学から10単位以上を必ず修得するものとする。</p> <p>動物基礎医学講座、獣医学外演習、獣医学特別演習のうち1つの講座を選択し、講座科目については、自大学開講の特論A及び特論B、他大学開講の特論C(各2単位)を履修するとともに、研究指導科目については、自大学開講の特別演習A(8単位)及び特別演習B(2単位)、他大学開講の特別演習C(2単位)を履修する。</p>												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤科目	獣医学基盤講義A	1前	東京農工大学/岩手大学	2			27	19	6	4		兼2
	獣医学基盤講義B	2前	東京農工大学/岩手大学	2			27	19	6	4		兼2
	研究デザイン演習	1前	東京農工大学/岩手大学	2			27	19	6	4		
	研究プレゼンテーション演習	2前	東京農工大学/岩手大学	2			27	19	6	4		
	研究倫理(東京農工大学)	1・2前	東京農工大学	1			9	1				
	研究倫理(岩手大学)	1・2前	岩手大学	1			2			1		
	科学英語	1・2前	東京農工大学/岩手大学	2			1	1				兼1
小計(7科目)	-			12			27	19	6	4		3
動物基礎医学講座科目 (基礎医学講座科目)	動物基礎医学特論A(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			3	6	1			
	動物基礎医学特論B(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			3	6	1			
	動物基礎医学特論C(東京農工大学)	2後	東京農工大学	2			3	6	1			
	動物基礎医学特論A(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5	2				
	動物基礎医学特論B(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5	2				
	動物基礎医学特論C(岩手大学)	2後	岩手大学	2			5	2				
小計(6科目)	-			12			8	8	1			
獣医衛生科学講座科目 (獣医衛生科学講座科目)	獣医衛生科学特論A(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			6	4	2			
	獣医衛生科学特論B(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			6	4	2			
	獣医衛生科学特論C(東京農工大学)	2後	東京農工大学	2			6	4	2			
	獣医衛生科学特論A(岩手大学)	1後	岩手大学	2			4	1				
	獣医衛生科学特論B(岩手大学)	1後	岩手大学	2			4	1				
	獣医衛生科学特論C(岩手大学)	2後	岩手大学	2			4	1				
小計(6科目)	-			12			10	5	2			
獣医臨床医学講座科目 (獣医臨床医学講座科目)	獣医臨床医学特論A(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			4	3	3			
	獣医臨床医学特論B(東京農工大学)	1後	東京農工大学	2			4	3	3			
	獣医臨床医学特論C(東京農工大学)	2後	東京農工大学	2			4	3	3			
	獣医臨床医学特論A(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5	2				
	獣医臨床医学特論B(岩手大学)	1後	岩手大学	2			5	2				
	獣医臨床医学特論C(岩手大学)	2後	岩手大学	2			5	2				
小計(6科目)	-			12			9	5	3			
動物基礎医学特別演習 (研究指導科目)	動物基礎医学特別演習A(東京農工大学)	1~4通	東京農工大学	8			3	6	1			
	動物基礎医学特別演習B(東京農工大学)	1通	東京農工大学	2			3	6	1			
	動物基礎医学特別演習C(東京農工大学)	2通	東京農工大学	2			3	6	1			
	動物基礎医学特別演習A(岩手大学)	1~4通	岩手大学	8			5	2				
	動物基礎医学特別演習B(岩手大学)	1通	岩手大学	2			5	2				
	動物基礎医学特別演習C(岩手大学)	2通	岩手大学	2			5	2				
小計(6科目)	-			24			8	8	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
獣医学 (研究指導科目)	獣医学特別演習A(東京農工大学)	1~4通	東京農工大学		8		6	4	2			
	獣医学特別演習B(東京農工大学)	1通	東京農工大学		2		6	4	2			
	獣医学特別演習C(東京農工大学)	2通	東京農工大学		2		6	4	2			
	獣医学特別演習A(岩手大学)	1~4通	岩手大学		8		4	1				
	獣医学特別演習B(岩手大学)	1通	岩手大学		2		4	1				
	獣医学特別演習C(岩手大学)	2通	岩手大学		2		4	1				
	小計(6科目)	-			24		10	5	2			
獣医学 (研究指導科目)	獣医学特別演習A(東京農工大学)	1~4通	東京農工大学		8		4	3	3			
	獣医学特別演習B(東京農工大学)	1通	東京農工大学		2		4	3	3			
	獣医学特別演習C(東京農工大学)	2通	東京農工大学		2		4	3	3			
	獣医学特別演習A(岩手大学)	1~4通	岩手大学		8		5	2				
	獣医学特別演習B(岩手大学)	1通	岩手大学		2		5	2				
	獣医学特別演習C(岩手大学)	2通	岩手大学		2		5	2				
	小計(6科目)	-			24		9	5	3			
獣医学 学際科目	学際領域特別講義	1後	東京農工大学/岩手大学		2		27	19	6	4		兼2
	国際感染症防疫学	2前	東京農工大学		1		1	2				
	先進動物医療学	3前	東京農工大学		1		3	2	2			兼1
	食品衛生管理学	2前	岩手大学		1		2	1				
	動物と人の共存学	3前	岩手大学		1		2	1				
小計(5科目)	-			6		27	19	6	4		2	
先端実践科目	動物基礎医学外演習(理化学研究所)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学		1							兼1
	獣医学外演習(国立感染症研究所)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学		1		2					
	獣医学外演習(医薬品食品衛生研究所)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学		1							兼1
	獣医学外演習(農研機構)	1-2-3, 4前-後	岩手大学		1		1					
	獣医学外演習(日本中央競馬会)	1-2-3, 4前-後	岩手大学		1							兼1
	獣医学特別演習(東京農工大学)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学		1		13	13	6			
	獣医学特別演習(岩手大学)	1-2-3, 4前-後	岩手大学		1		14	5				
	海外演習A(東京農工大学)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学		1		13	13	6			
	海外演習B(東京農工大学)	1-2-3, 4前-後	東京農工大学		2		13	13	6			
	海外演習A(岩手大学)	1-2-3, 4前-後	岩手大学		1		14	5				
	海外演習B(岩手大学)	1-2-3, 4前-後	岩手大学		2		14	5				
小計(11科目)	-			13		27	18	6			3	
合計(59科目)	-			12	127		27	19	6	4		6

卒業要件及び履修方法

本専攻における修了要件は、共通基盤科目から12単位、講義科目から6単位、研究指導科目から12単位、獣医学学際科目から2単位、先端実践科目から2単位の計34単位以上を修得し、かつ、博士論文の審査及び最終試験に合格するものとする。
 なお、修得単位数のうち相手大学から10単位以上を必ず修得するものとする。
 動物基礎医学講座、獣医学特別演習、獣医学特別演習A(東京農工大学)の中から1つの講座を選択し、講座科目については、自大学開講の特論A及び特論B、他大学開講の特論C(各2単位)を履修するとともに、研究指導科目については、自大学開講の特別演習A(8単位)及び特別演習B(2単位)、他大学開講の特別演習C(2単位)を履修する。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・職位の変更及び新規採用により、「獣医学基盤講義A」、「獣医学基盤講義B」、「研究デザイン演習」、「研究プレゼンテーション演習」及び「学際領域特別講義」の専任教員等の配置を「教授25、准教授20、講師5、助教5」から「教授27、准教授19、講師6、助教4」に変更。
 ・新規採用により、「動物基礎医学特論A（東京農工大学）」、「動物基礎医学特論B（東京農工大学）」、「動物基礎医学特論C（東京農工大学）」、「動物基礎医学特別演習A（東京農工大学）」、「動物基礎医学特別演習B（東京農工大学）」及び「動物基礎医学特別演習C（東京農工大学）」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
 ・職位の変更により、「獣医衛生科学特論A（東京農工大学）」、「獣医衛生科学特論B（東京農工大学）」、「獣医衛生科学特論C（東京農工大学）」、「獣医衛生科学特別演習A（東京農工大学）」、「獣医衛生科学特別演習B（東京農工大学）」及び「獣医衛生科学特別演習C（東京農工大学）」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
 ・職位の変更により、「獣医臨床医学特論A（東京農工大学）」、「獣医臨床医学特論B（東京農工大学）」、「獣医臨床医学特論C（東京農工大学）」、「獣医臨床医学特別演習A（東京農工大学）」、「獣医臨床医学特別演習B（東京農工大学）」及び「獣医臨床医学特別演習C（東京農工大学）」の専任教員等の配置を「教授2、准教授5」から「教授4、准教授3」に変更。
 ・職位の変更により、「国際感染症疫学」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から「准教授2、講師0」に変更。
 ・職位の変更により、「先進動物医療学」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3」から「教授3、准教授2」に変更。
 ・職位の変更及び新規採用により、「獣医学特別演習（東京農工大学）」、「海外演習A（東京農工大学）」及び「海外演習B（東京農工大学）」の専任教員等の配置を「教授11、准教授14、講師5」から「教授13、准教授13、講師6」に変更。

【令和元年度】

・新規採用、職位の変更及び退職により、「獣医学基盤講義A」、「獣医学基盤講義B」、「研究デザイン演習」、「研究プレゼンテーション演習」及び「学際領域特別講義」の専任教員等の配置を「教授27、准教授19、助教4」から「教授29、准教授21、助教3」に変更。
 ・職位の変更により、「動物基礎医学特論A（東京農工大学）」、「動物基礎医学特論B（東京農工大学）」、「動物基礎医学特論C（東京農工大学）」、「動物基礎医学特別演習A（東京農工大学）」、「動物基礎医学特別演習B（東京農工大学）」及び「動物基礎医学特別演習C（東京農工大学）」の専任教員等の配置を「教授3、准教授6」から「教授4、准教授7」に変更。
 ・新規採用及び退職により、「獣医衛生科学特論A（岩手大学）」、「獣医衛生科学特論B（岩手大学）」、「獣医衛生科学特論C（岩手大学）」、「獣医衛生科学特別演習A（岩手大学）」、「獣医衛生科学特別演習B（岩手大学）」及び「獣医衛生科学特別演習C（岩手大学）」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1」から「教授5、准教授0」に変更。
 ・新規採用及び退職により、「食品衛生管理学」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授3、准教授0」に変更。
 ・職位の変更により、「獣医学特別演習（東京農工大学）」、「海外演習A（東京農工大学）」及び「海外演習B（東京農工大学）」の専任教員等の配置を「教授13、准教授13」から「教授14、准教授14」に変更。
 ・新規採用及び退職により、「獣医学特別演習（岩手大学）」、「海外演習A（岩手大学）」及び「海外演習B（岩手大学）」の専任教員等の配置を「教授14、准教授5」から「教授15、准教授4」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

大学名	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
岩手大学	6 科目	26 科目	0 科目	32 科目	6 科目 [0]	26 科目 [0]	0 科目 [0]	32 科目 [0]	
東京農工大学	6 科目	27 科目	0 科目	33 科目	6 科目 [0]	27 科目 [0]	0 科目 [0]	33 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
岩手大学	1						
	2	該当なし					
	3						
東京農工大学	1						
	2	該当なし					
	3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
岩手大学	1						
	2	該当なし					
	3						
東京農工大学	1						
	2	該当なし					
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

岩手大学：該当なし 東京農工大学：該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(岩手大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{32} = \boxed{} \%$$

(東京農工大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{33} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(岩手大学)

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	280,802㎡	0㎡	0㎡	280,802㎡				
	運動場用地	61,037㎡	0㎡	0㎡	61,037㎡				
	小 計	341,839㎡	0㎡	0㎡	341,839㎡				
	そ の 他	74,213㎡	0㎡	0㎡	74,213㎡				
	合 計	416,052㎡	0㎡	0㎡	416,052㎡				
(2) 校 舎	専 用	142,389 ㎡ 141,583 ㎡ (142,389 ㎡) (141,583 ㎡)	共 用 0 ㎡ (0 ㎡)	共用する他の 学校等の専用 0 ㎡ (0 ㎡)	計 142,389 ㎡ 141,583 ㎡ (142,389 ㎡) (141,583 ㎡)				
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
(3) 教 室 等	96 室	51 室	362 室	12 室 (補助職員 0人)	3 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	獣医学研究科共同獣医学専攻			27 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能 なため、大学全体での数	
	獣医学研究科 共同獣医学専攻	900,436 [198,532] 905,397 [198,852] 909,997 [199,025] (886,718 [197,254]) (891,679 [197,574]) (889,413 [197,085])	11,543 [2,182] 11,477 [2,178] 11,525 [2,204] (11,471 [2,178]) (11,405 [2,174]) (11,373 [2,180])	5,621 [5,617] 5,755 [5,751] 6,340 [5,767] (5,621 [5,617]) (5,755 [5,751]) (6,340 [5,767])	4,577 4,556 4,743 (4,275) (4,254) (4,115)	84 87 84 (84) (87)	0 0 0 (0) (0)	予算状況(運営費交付金 の状況)等の変更による (元)	
	計	900,436 [198,532] 905,397 [198,852] 909,997 [199,025] (886,718 [197,254]) (891,679 [197,574]) (889,413 [197,085])	11,543 [2,182] 11,477 [2,178] 11,525 [2,204] (11,471 [2,178]) (11,405 [2,174]) (11,373 [2,180])	5,621 [5,617] 5,755 [5,751] 6,340 [5,767] (5,621 [5,617]) (5,755 [5,751]) (6,340 [5,767])	4,577 4,556 4,743 (4,275) (4,254) (4,115)	84 87 84 (84) (87)	0 0 0 (0) (0)		
	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
(6) 図 書 館	9,089 ㎡	664 679	682,700 680,989 679,789		図書スペースの利用方法 の見直しのため(元)				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	6,357 ㎡	野球場	陸上競技場	テニスコート	武道場ほか	大学全体			
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金) による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(東京農工大学)

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	237,007㎡	0㎡	0㎡	237,007㎡				
	運動場用地	46,341㎡	0㎡	0㎡	46,341㎡				
	小 計	283,348㎡	0㎡	0㎡	283,348㎡				
	そ の 他	180,899㎡	0㎡	0㎡	180,899㎡				
	合 計	464,247㎡	0㎡	0㎡	464,247㎡				
(2) 校 舎	専 用	131,488㎡ 131,288㎡ 128,183㎡	0㎡	0㎡	131,488㎡ 131,288㎡ 128,183㎡	平成30年8月府中地区5号館改修のため(元)			
	(131,488㎡) -(131,288㎡) -(128,183㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(131,488㎡) -(131,288㎡) -(128,183㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 建物の一部改修のため(元)			
	83 77室	43 45室	571 513 503室	10室 (補助職員 3人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	農学府共同獣医学専攻			35 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 予算、電子ジャーナル 契約内容の変更により 図書等の購入計画を 見直したため(元)	
	農学府 共同獣医学専攻	530,482 [176,338] 543,273 [178,964] (526,347[175,726]) (527,06 [175,906])	14,174 [7,038] 14,178 [7,031] (14,143 [7,022]) (14,135 [7,025])	7,043 [6,402] (7,226 [7,155]) (7,128 [7,058])	2,992 2,998 (2,852) (2,937)	0 (0)	0 (0)		
	計	530,482 [176,338] 543,273 [178,964] (526,347[175,726]) (527,06 [175,906])	14,174 [7,038] 14,178 [7,031] (14,143 [7,022]) (14,135 [7,025])	7,043 [6,402] (7,226 [7,155]) (7,128 [7,058])	2,992 2,998 (2,852) (2,937)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体、図書スペースの利用方法を見直したため(元)		
	6,907㎡		948 897 882		544,889				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	2,477㎡		テニスコート		武道場			ゴルフ練習場ほか	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金による)	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円		千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。
- ・ 構成大学ごとに記入してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		岩手大学						備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
人文社会科学部	4	200	3年次 10人	820	-	1.04	-		岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
人間文化課程	4	125	6	512	学士(総合科学)	1.03	-	平成28年度	同上	
地域政策課程	4	75	4	308	学士(総合科学)	1.05	-	平成28年度	同上	
人間科学課程	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
国際文化課程	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
法学経済課程	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
環境科学課程	4	-	-	-	学士(総合科学)	-	-	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
教育学部	4	160	-	640	-	1.07	-		岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士(教育)	1.07	-	平成12年度	同上	
生涯教育課程	4	-	-	-	学士(生涯教育)	-	-	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
芸術文化課程	4	-	-	-	学士(芸術文化)	-	-	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
理工学部	4	440	3年次 20人	1800	-	1.03	-		岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
化学・生命理工学科	4	90	2	364	学士(理工学)	1.04	-	平成28年度	同上	
物理・材料理工学科	4	80	2	324	学士(理工学)	1.04	-	平成28年度	同上	
システム創成工学科	4	270	16	1112	学士(工学)	1.03	-	平成28年度	同上	
工学部									岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	平成28年より学生募集停止
応用化学・生命工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
社会環境工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
農学部		230	3年次 5人	990	-	1.04	-		岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
植物生命科学科	4	40	1	162	学士(農学)	1.04	-	平成28年度	同上	
応用生物化学科	4	40	1	162	学士(農学)	1.03	-	平成28年度	同上	
森林科学科	4	30	-	120	学士(農学)	1.03	-	平成28年度	同上	
食料生産環境学科	4	60	2	244	学士(農学)	1.05	-	平成28年度	同上	
動物科学科	4	30	1	122	学士(農学)	1.03	-	平成28年度	同上	
農学生命課程	4	-	-	-	学士(農学)	-	-	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
応用生物化学課程	4	-	-	-	学士(農学)	-	-	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共生環境課程	4	-	-	-	学士(農学)	-	-	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
動物科学課程	4	-	-	-	学士(農学)	-	-	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共同獣医学科	6	30	-	180	学士(獣医学)	1.10	-	平成24年度	同上	
獣医学課程	6	-	-	-	学士(獣医学)	-	-	平成19年度	同上	平成24年より学生募集停止
大学全体	-	1030	35	4250	-	-	-	-	-	

大学 の 名 称	岩手大学大学院							備 考
総合科学研究科（修士課程）	2	294	-	588	-	0.95	-	
地域創生専攻	2	54	-	108	修士（農学） 修士（水産学） 修士（工学） 修士（スポーツ健康科学） 修士（学術）	1.07	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号
総合文化学専攻	2	10	-	20	修士（学術）	0.75	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番34号
理工学専攻	2	180	-	360	修士（理工学） 修士（工学） 修士（芸術工学）	0.96	平成29年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号
農学専攻	2	50	-	100	修士（農学）	0.85	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号
人文社会科学研究所（修士課程）			-					
人間科学専攻	2	-	-	-	修士（学術）	-	平成16年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番34号
教育学研究所（専門職学位課程）	2	16	-	32	-	1.12	-	岩手県盛岡市上田3丁目18番33号
教職実践専攻	2	16	-	32	教職修士（専門職）	1.12	平成28年度	同上
工学研究科（博士前期課程）								
電気電子・情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成21年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号
金型・鋳造工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成18年度	同上
農学研究科（修士課程）								
共生環境専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成21年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号
理工学研究科（博士課程）	3	18	-	18	-	0.61	-	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号
自然・応用科学専攻	3	6	-	6	博士（理工学又は理学）	0.50	平成31年度	同上
システム創成工学専攻	3	9	-	9	博士（工学）	0.33	平成31年度	同上
デザイン・メディア工学専攻	3	3	-	3	博士（工学又は芸術工学）	1.66	平成31年度	同上
工学研究科（博士課程）								
フロンティア物質機能工学専攻	3	-	-	-	博士（工学）	-	平成21年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号
電気電子・情報システム工学専攻	3	-	-	-	博士（工学）	-	平成21年度	同上
機械・社会環境システム工学専攻	3	-	-	-	博士（工学）	-	平成21年度	同上
デザイン・メディア工学専攻	3	-	-	-	博士（工学又は芸術工学）	-	平成21年度	同上
獣医学研究所（博士課程）	4	5	-	10	-	1.50	-	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号
共同獣医学専攻	4	5	-	10	博士（獣医学）	1.50	平成30年度	同上
連合農学研究科（博士課程）	3	24	-	48	-	1.03	-	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号
生物生産科学専攻	3	9	-	18	博士（農学又は学術）	0.77	平成30年度	同上
生物資源科学専攻	3	8	-	16	博士（農学又は学術）	0.75	平成30年度	同上
地域環境創生学専攻	3	7	-	14	博士（農学又は学術）	1.71	平成30年度	同上
生物生産科学専攻	3	-	-	-	博士（農学又は学術）	-	平成2年度	同上
生物資源科学専攻	3	-	-	-	博士（農学又は学術）	-	平成2年度	同上
寒冷圏生命システム学専攻	3	-	-	-	博士（農学又は学術）	-	平成18年度	同上
生物環境科学専攻	3	-	-	-	博士（農学又は学術）	-	平成2年度	同上
大学院全体	-	357	-	696	-	-	-	-

大学の名称	東京農工大学							備考		
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	
農学部	年	人	3年次 人	人		倍	年度	年度		
生物生産科学科	4	57	-	228	学士 (農学)	1.05	-	平成16年度	東京都府中市幸町三 丁目5番8号	
応用生物科学科	4	71	-	284	学士 (農学)	1.07	-	平成16年度	同上	
環境資源科学科	4	61	-	244	学士 (農学)	1.04	-	平成16年度	同上	
地域生態システム 学科	4	76	-	304	学士 (農学)	1.05	-	平成16年度	同上	
共同獣医学科	4	35	-	210	学士 (獣医学)	1.11	-	平成24年度	同上	
獣医学科	4	-	-	-	学士 (獣医学)	-	-	平成16年度	同上	平成24年度より学 生募集停止
工学部										
生命工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成16年度	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	令和元年度より学生募集停止
応用分子化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
有機材料化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
化学システム工学 科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
機械システム工学 科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
物理システム工学 科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
生命工学科	4	81	11	346	学士 (工学)	1.03	-	令和元年度	同上	
生体医用システム工 学科	4	56	6	236	学士 (工学)	1.03	-	令和元年度	同上	
応用化学科	4	81	10	344	学士 (工学)	1.04	-	令和元年度	同上	
化学物理工学科	4	81	7	338	学士 (工学)	1.11	-	令和元年度	同上	
機械システム工学科	4	102	16	440	学士 (工学)	1.00	-	令和元年度	同上	
知能情報システム工 学科	4	120	20	520	学士 (工学)	1.01	-	令和元年度	同上	
大学全体	-	821	70	3494	-	-	-	-	-	

大学 の 名 称	東京農工大学大学院							備 考		
工学府（博士前期課程）										
生命工学専攻	2	58	-	116	修士（工学又は学術）	1.08	-	平成16年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号	
応用化学専攻	2	78	-	156	修士（工学又は学術）	1.03	-	平成16年度	同上	
機械システム工学専攻	2	70	-	140	修士（工学又は学術）	1.01	-	平成16年度	同上	
物理システム工学専攻	2	26	-	52	修士（工学又は学術）	1.07	-	平成16年度	同上	
電気電子工学専攻	2	66	-	132	修士（工学又は学術）	1.00	-	平成16年度	同上	
情報工学専攻	2	42	-	84	修士（工学又は学術）	1.00	-	平成18年度	同上	
工学府（博士後期課程）										
生命工学専攻	3	14	-	42	博士（工学又は学術）	0.87			東京都小金井市中町二丁目24番16号	
応用化学専攻	3	14	-	42	博士（工学又は学術）	0.97			同上	
機械システム工学専攻	3	13	-	39	博士（工学又は学術）	1.33			同上	
電子情報工学専攻	3	15	-	45	博士（工学又は学術）	0.90			同上	
工学府（博士課程）										
共同サステイナビリティ研究専攻	3	4	-	12	博士（学術）	1.00	-	令和元年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号	
工学府（専門職学位課程）										
産業技術専攻	2	40	-	80	技術経営修士（専門職）	1.01	-	平成23年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号	
農学府（修士課程）										
生物生産科学専攻	2	-	-	-	修士（農学又は学術）	-	-	平成16年度	東京都府中市幸町三丁目5番8号	令和元年度より学生募集停止
共生持続社会学専攻	2	-	-	-	修士（農学又は学術）	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
応用生命化学専攻	2	-	-	-	修士（農学又は学術）	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
生物制御科学専攻	2	-	-	-	修士（農学又は学術）	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
環境資源物質科学専攻	2	-	-	-	修士（農学又は学術）	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
物質循環環境科学専攻	2	-	-	-	修士（農学又は学術）	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
自然環境保全学専攻	2	-	-	-	修士（農学又は学術）	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
農業環境工学専攻	2	-	-	-	修士（農学又は学術）	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
国際環境農学専攻	2	-	-	-	修士（農学又は学術）	-	-	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
農学専攻	2	174	-	348	修士（農学又は学術）	1.12	-	令和元年度	同上	
農学府（博士課程）										
共同獣医学専攻	4	10	-	40	博士（獣医学）	1.45	-	平成30年度	東京都府中市幸町三丁目5番8号	
生物システム応用科学府										
（博士前期課程）										
生物機能システム科学専攻	2	59	-	118	修士（工学、農学又は学術）	1.06	-	平成27年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号	
生物システム応用科学専攻	2	-	-	-	修士（工学、農学又は学術）	-	-	平成16年度	同上	平成27年度より学生募集停止
生物システム応用科学府										
（博士後期課程）										
生物機能システム科学専攻	3	12	-	36	博士（工学、農学又は学術）	1.30	-	平成27年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号	
生物システム応用科学専攻	3	-	-	-	博士（工学、農学又は学術）	-	-	平成16年度	同上	平成27年度より学生募集停止

生物システム応用科 学府 (一貫制博士課程) 食料エネルギーシ ステム科学専攻	5	10	-	50	博士(工学、農 学又は学術)	1.12	-	平成27年度	東京都小金井市中町 二丁目24番16号
生物システム応用科 学府 (博士課程) 共同先進健康科学 専攻	3	6	-	18	博士(生命科学)	0.60	-	平成22年度	東京都小金井市中町 二丁目24番16号
連合農学研究科(博 士課程) 生物生産科学専攻	3	15	-	45	博士(農学又は学術)	0.93	-	平成19年度	東京都府中市幸町三 丁目5番8号
応用生命科学専攻	3	10	-	30	博士(農学又は学術)	0.46	-	平成19年度	同上
環境資源共生科学 専攻	3	10	-	30	博士(農学又は学術)	1.10	-	平成19年度	同上
農業環境工学専攻	3	4	-	12	博士(農学又は学術)	1.50	-	平成19年度	同上
農林共生社会科学 専攻	3	6	-	18	博士(農学又は学術)	1.05	-	平成19年度	同上
大学院全体	-	760	-	1697	-	-	-	-	-

高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・構成大学毎に記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	井口 愛子 (32) <平成30年4月> 博士(獣医学)	専	助教	井口 愛子 (32) <平成30年4月> 博士(獣医学)			
		獣医学基礎講義A※ 獣医学基礎講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 学際領域特別講義※			獣医学基礎講義A※ 獣医学基礎講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 学際領域特別講義※	専	教授	寺嶋 淳 (62) <平成30年10月> 獣医学博士 獣医学基礎講義A※ 獣医学基礎講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 獣医学科学特論A(岩手大学) 獣医学科学特論B(岩手大学) 獣医学科学特論C(岩手大学) 獣医学科学特別演習A(岩手大学) 獣医学科学特別演習B(岩手大学) 獣医学科学特別演習C(岩手大学) 学際領域特別講義※ 食品衛生管理学※ 獣医学特別演習(岩手大学) 海外演習A(岩手大学) 海外演習B(岩手大学)
						専	准教授	星野 有希 (43) <平成30年10月> 博士(獣医学) 獣医学基礎講義A※ 獣医学基礎講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 学際領域特別講義※
兼任	講師	一條 俊浩 (58) <平成30年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	一條 俊浩 (58) <平成30年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	一條 俊浩 (59) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		獣医学基礎講義A※ 獣医学基礎講義B※ 学際領域特別講義※ 食品衛生管理学※			獣医学基礎講義A※ 獣医学基礎講義B※ 学際領域特別講義※ 食品衛生管理学※			獣医学基礎講義A※ 獣医学基礎講義B※ 学際領域特別講義※ 食品衛生管理学※
兼任	講師	高橋 正弘 (47) <平成30年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	高橋 正弘 (47) <平成30年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	高橋 正弘 (48) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		獣医学基礎講義A※ 獣医学基礎講義B※ 学際領域特別講義※			獣医学基礎講義A※ 獣医学基礎講義B※ 学際領域特別講義※			獣医学基礎講義A※ 獣医学基礎講義B※ 学際領域特別講義※
兼任	講師	笠嶋 快周 (52) <平成30年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	笠嶋 快周 (52) <平成30年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	笠嶋 快周 (53) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		獣医学臨床科学学外演習(日本中央競馬会)			獣医学臨床科学学外演習(日本中央競馬会)			獣医学臨床科学学外演習(日本中央競馬会)

<東京農工大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ウチノ ヲシ 打出 毅 (58) <平成30年4月> 博士(獣医学)
専	教授	シバタ ヒロシ 柴田 秀史 (61) <平成30年4月> 医学博士
専	教授	シバタ マコト 渋谷 淳 (58) <平成30年4月> 医学博士
専	教授	シライ ジュンサク 白井 淳資 (63) <平成30年4月> 博士(農学)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ウチノ ヲシ 打出 毅 (58) <平成30年4月> 博士(獣医学)
専	教授	シバタ ヒロシ 柴田 秀史 (61) <平成30年4月> 医学博士
専	教授	シバタ マコト 渋谷 淳 (58) <平成30年4月> 医学博士
専	教授	シライ ジュンサク 白井 淳資 (63) <平成30年4月> 博士(農学)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ウチノ ヲシ 打出 毅 (59) <平成30年4月> 博士(獣医学)
専	教授	シバタ ヒロシ 柴田 秀史 (62) <平成30年4月> 医学博士
専	教授	シバタ マコト 渋谷 淳 (59) <平成30年4月> 医学博士
専	教授	シライ ジュンサク 白井 淳資 (64) <平成30年4月> 博士(農学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ヨシダ トシノリ 吉田 敏則 (53) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 動物基礎医学特論A(東京農工大学) 動物基礎医学特論B(東京農工大学) 動物基礎医学特論C(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習A(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習B(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習C(東京農工大学) 学際領域特別講義※ 獣医学特別演習(東京農工大学) 海外演習A(東京農工大学) 海外演習B(東京農工大学)
専	講師	イシハラ(カトウ) カコ 石原(加藤) 加奈子 (42) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 獣医学科学特論A(東京農工大学) 獣医学科学特論B(東京農工大学) 獣医学科学特論C(東京農工大学) 獣医学科学特別演習A(東京農工大学) 獣医学科学特別演習B(東京農工大学) 獣医学科学特別演習C(東京農工大学) 学際領域特別講義※ 獣医学特別演習(東京農工大学) 海外演習A(東京農工大学) 海外演習B(東京農工大学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ヨシダ トシノリ 吉田 敏則 (53) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 動物基礎医学特論A(東京農工大学) 動物基礎医学特論B(東京農工大学) 動物基礎医学特論C(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習A(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習B(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習C(東京農工大学) 学際領域特別講義※ 獣医学特別演習(東京農工大学) 海外演習A(東京農工大学) 海外演習B(東京農工大学)
専	講師	イシハラ(カトウ) カコ 石原(加藤) 加奈子 (42) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 獣医学科学特論A(東京農工大学) 獣医学科学特論B(東京農工大学) 獣医学科学特論C(東京農工大学) 獣医学科学特別演習A(東京農工大学) 獣医学科学特別演習B(東京農工大学) 獣医学科学特別演習C(東京農工大学) 学際領域特別講義※ 獣医学特別演習(東京農工大学) 海外演習A(東京農工大学) 海外演習B(東京農工大学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ヨシダ トシノリ 吉田 敏則 (54) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 動物基礎医学特論A(東京農工大学) 動物基礎医学特論B(東京農工大学) 動物基礎医学特論C(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習A(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習B(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習C(東京農工大学) 学際領域特別講義※ 獣医学特別演習(東京農工大学) 海外演習A(東京農工大学) 海外演習B(東京農工大学)
専	准教授	カネタマ マサヒロ 金田 正弘 (44) <平成30年10月> 博士(理学)
		獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 動物基礎医学特論A(東京農工大学) 動物基礎医学特論B(東京農工大学) 動物基礎医学特論C(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習A(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習B(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習C(東京農工大学) 学際領域特別講義※ 獣医学特別演習(東京農工大学) 海外演習A(東京農工大学) 海外演習B(東京農工大学)
専	准教授	ムラカミ 智亮 村上 智亮 (33) <平成31年4月> 博士(獣医学)
		獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 動物基礎医学特論A(東京農工大学) 動物基礎医学特論B(東京農工大学) 動物基礎医学特論C(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習A(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習B(東京農工大学) 動物基礎医学特別演習C(東京農工大学) 学際領域特別講義※ 獣医学特別演習(東京農工大学) 海外演習A(東京農工大学) 海外演習B(東京農工大学)
専	准教授	エンドウ ナツ美 遠藤 なつ美 (37) <平成31年4月> 博士(獣医学)
		獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 学際領域特別講義※
専	講師	イシハラ(カトウ) カコ 石原(加藤) 加奈子 (43) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 獣医学科学特論A(東京農工大学) 獣医学科学特論B(東京農工大学) 獣医学科学特論C(東京農工大学) 獣医学科学特別演習A(東京農工大学) 獣医学科学特別演習B(東京農工大学) 獣医学科学特別演習C(東京農工大学) 学際領域特別講義※ 獣医学特別演習(東京農工大学) 海外演習A(東京農工大学) 海外演習B(東京農工大学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	キト ミチ 岸本 海織 (41) <平成30年4月> 博士(獣医学)	専	講師	キト ミチ 岸本 海織 (41) <平成30年4月> 博士(獣医学)	専	講師	キト ミチ 岸本 海織 (42) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 獣医臨床医学特論A(東京農工大学) 獣医臨床医学特論B(東京農工大学) 獣医臨床医学特論C(東京農工大学) 獣医臨床医学特別演習A(東京農工大学) 獣医臨床医学特別演習B(東京農工大学) 獣医臨床医学特別演習C(東京農工大学) 学際領域特別講義※ 先進動物医療学※ 獣医学特別演習(東京農工大学) 海外演習A(東京農工大学) 海外演習B(東京農工大学)			獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 獣医臨床医学特論A(東京農工大学) 獣医臨床医学特論B(東京農工大学) 獣医臨床医学特論C(東京農工大学) 獣医臨床医学特別演習A(東京農工大学) 獣医臨床医学特別演習B(東京農工大学) 獣医臨床医学特別演習C(東京農工大学) 学際領域特別講義※ 先進動物医療学※ 獣医学特別演習(東京農工大学) 海外演習A(東京農工大学) 海外演習B(東京農工大学)			獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 獣医臨床医学特論A(東京農工大学) 獣医臨床医学特論B(東京農工大学) 獣医臨床医学特論C(東京農工大学) 獣医臨床医学特別演習A(東京農工大学) 獣医臨床医学特別演習B(東京農工大学) 獣医臨床医学特別演習C(東京農工大学) 学際領域特別講義※ 先進動物医療学※ 獣医学特別演習(東京農工大学) 海外演習A(東京農工大学) 海外演習B(東京農工大学)
専	助教	ササ ユキ 佐々 悠木子 (38) <平成30年4月> 博士(獣医学)	専	講師	ササ ユキ 佐々 悠木子 (38) <平成30年4月> 博士(獣医学)	専	講師	ササ ユキ 佐々 悠木子 (39) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※ 学際領域特別講義※			獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※			獣医学基盤講義A※ 獣医学基盤講義B※ 研究デザイン演習※ 研究プレゼンテーション演習※
兼任	准教授	オウノナ アギマン スィワ ONWONA-AGYEMAN SIAW (54) <平成30年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	オウノナ アギマン スィワ ONWONA-AGYEMAN SIAW (54) <平成30年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	オウノナ アギマン スィワ ONWONA-AGYEMAN SIAW (55) <平成30年4月> 博士(農学)
		科学英語※			科学英語※			科学英語※
兼任	講師	オカガ ユミコ 岡田 由美子 (51) <平成30年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	オカガ ユミコ 岡田 由美子 (51) <平成30年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	オカガ ユミコ 岡田 由美子 (52) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		獣医微生物学外演習(医薬品及食品微生物学研究)			獣医微生物学外演習(医薬品及食品微生物学研究)			獣医微生物学外演習(医薬品及食品微生物学研究)
兼任	講師	マトハ ショウゴ 的場 章悟 (38) <平成30年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	マトハ ショウゴ 的場 章悟 (38) <平成30年4月> 博士(獣医学)	兼任	講師	マトハ ショウゴ 的場 章悟 (39) <平成30年4月> 博士(獣医学)
		動物基礎医学外演習(理化学研究)			動物基礎医学外演習(理化学研究)			動物基礎医学外演習(理化学研究)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 - ・ 構成大学毎に記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<岩手大学>

【平成30年度】

特になし。

【令和元年度】

- ・平成30年9月30日付けで井口愛子助教が辞任。
- ・平成30年10月寺嶋淳教授が就任。平成30年6月教員審査済み。
- ・平成30年10月星野有希准教授が就任。平成30年6月教員審査済み。
- ・平成31年3月31日付けで彦野弘一准教授が辞任。

<東京農工大学>

【平成30年度】

- ・平成30年4月田中知己准教授が教授昇任。平成29年11月教員審査済み。
- ・平成30年4月福島(山口)隆治准教授が教授昇任。平成29年11月教員審査済み。
- ・平成30年4月臼井達哉講師が就任。平成29年11月教員審査済み。
- ・平成30年4月大松勉講師が准教授昇任。平成29年11月教員審査済み。
- ・平成30年4月佐々悠木子助教が講師昇任。平成29年11月教員審査済み。

【令和元年度】

- ・H30.10.1金田正弘准教授就任、H30.8.20AC審査済み
- ・H31.1.1永岡謙太郎教授昇任、H30.12.13AC審査済み
- ・H31.4.1遠藤なつ美准教授就任、H31.2.18AC審査済み (D合のみ)
- ・H31.4.1村上 智亮准教授就任、H31.2.18AC審査済み

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ 構成大学毎に記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
	岩手大学	4 名	
東京農工 大学	4 名	3 名	4 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数【大学院】

大学名	設置時の計画					現在（報告時）の状況				
	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
岩手大学	13	6	0	4	23	15	6	0	3	24
	(14)		(0)	(4)	(24)					
	研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
	18	0	5			19	0	5		
	(19)	(0)	(5)							
東京農工 大学	9	14	5	1	29	14	15	6	0	35
	(11)	(14)	(5)	(1)	(31)					
	研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
	28	0	1			34	1	0		
	(30)	(0)	(1)							
大学名	現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
	教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
岩手大学	14	6	0	3	23	14	6	0	3	23
	[1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]
	研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
	18	0	5			18	0	5		
	[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		
東京農工 大学	12	15	6	0	33	12	15	6	0	33
	[3]	[1]	[1]	[Δ1]	[4]	[3]	[1]	[1]	[Δ1]	[4]
	研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
	33	0	0			33	0	0		
	[5]	[0]	[Δ1]			[5]	[0]	[Δ1]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を審査済みであり、完成年度末までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
岩手大学	65 歳	0 名	0 名
東京農工 大学	65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{56}{52} = \boxed{107.69} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) 一⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{59} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
岩手大学			該当なし								
東京農工大学			該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人		必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
岩手大学	1	助教	井口 愛子	H30.9	必修	獣医学基盤講義A	①	H30.9.30付けで一身上の都合のため辞任(元)		
					必修	獣医学基盤講義B	①			
					必修	研究デザイン演習	①			
					必修	研究プレゼンテーション演習	①			
					選択	学際領域特別講義	①			
	2	准教授	彦野 弘一	H31.3	必修	獣医学基盤講義A	①	H31.3.31付けで一身上の都合のため辞任(元)		
					必修	獣医学基盤講義B	①			
					必修	研究デザイン演習	①			
					必修	研究プレゼンテーション演習	①			
					選択	獣医学科学特論A(岩手大学)	①			
					選択	獣医学科学特論B(岩手大学)	①			
					選択	獣医学科学特論C(岩手大学)	①			
					選択	獣医学科学特別演習A(岩手大学)	①			
					選択	獣医学科学特別演習B(岩手大学)	①			
					選択	獣医学科学特別演習C(岩手大学)	①			
					選択	学際領域特別講義	①			
					選択	食品衛生管理学	②			
選択	獣医学特別演習(岩手大学)	①								
選択	海外演習A(岩手大学)	①								
選択	海外演習B(岩手大学)	①								
東京農工大学			該当なし							
合計(F)					後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	11	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	20	科目	計	19	科目	計	1	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	11 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	20 科目	計	19 科目	計	1 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{52} = \boxed{3.84} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
岩手大学			該当なし						
東京農工大学			該当なし						
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

岩手大学：専任教員辞任については、同分野の専任教員及び兼担教員が代替するため支障はない。履修については、履修の手引き、学生便覧、シラバスで周知を行っているため支障はない。 東京農工大学：該当なし
--

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

<岩手大学>

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

<東京農工大学>

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<岩手大学>

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育推進機構教育推進連携部門 【規則：別添資料1】

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

6回（参加教員13人ほか事務職員2人）

c 委員会の審議事項等

FD実施計画、GPA、学年暦、卒業生・修了生アンケートについて審議

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 全学FD研修
- ・ 授業公開
- ・ 新任教員研修会
- ・ 授業評価アンケートの実施

b 実施方法

教育推進機構から各学部事務を通じて教員へ周知の上、実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学FD研修（平成30年8月30日） 教員114名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケート結果及び全学FD研修アンケート結果を踏まえ、教育推進機構教育推進連携部門において、改善事項を整理し、全学FD研修のテーマとして改善に向けた取組を実施。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期及び後期に授業アンケートを実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの集計結果を授業担当教員に通知。（学生には非公開）

<東京農工大学>

① 実施体制

a 委員会の設置状況

グローバル教育院で起案、全学「教育・学生生活委員会」で審議して実施を決定 [別添資料1]

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

毎月1回

c 委員会の審議事項等

FDの目的、内容、実施方法について

② 実施状況

a 実施内容

- ・新任教員に対する自校理解、授業方法の研修。
- ・英語で講義を行う教員向けの研修
- ・「アクティブ・ラーニング」に関する説明会。
- ・「障害者差別解消法」の解説と障害のある学生に対する支援。

b 実施方法

- ・全学の教員対象の内容の場合は、教授会の開催前後の時間で実施。
- ・特定の教員対象の研修については、該当教員を招集して実施。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

- ・教授会の開催前後の時間で実施した場合は、全学のほとんどの教員が聴講し、周知できた。
- ・特定の教員対象の研修については、グループワーク等の参加型研修を行い、参加者からは好評を得た。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・今後も引き続き積極的にFDを推進していく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前学期、後学期の2回実施している。(一部、4学期制に対応している)

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計した結果については、担当科目の教員にフィードバックを行い、必要に応じて個別対応を行っている。
学生に対しては全体の集計結果をホームページで公開している。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<岩手大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成30年4月の学生入学以降、設置計画に沿ったカリキュラムが開始され、1年目は着実に履行した。2年目も引き続き設置計画を履行する予定。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和2年度 公表予定

b 公表方法

- ・令和元年度年度計画の自己点検・評価を通じた「自己点検・評価報告書」等を大学ホームページ上に公開予定（令和2年度中）

③ 認証評価を受ける計画

- ・今年度、評価機関の評価を受ける予定

<東京農工大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。また、今後も設置の趣旨及び目的の達成に向けて教育研究活動を実施することとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書〔中期目標・中期計画の進行状況等に係る自己点検・評価書〕を、令和元年11月に公表予定。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・2020年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の機関別認証評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<岩手大学>

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 7月 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

<東京農工大学>

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 8月 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注） ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議規則

平成26年4月1日 制定

平成29年4月1日 最終改正

(趣旨)

第1条 この規則は、岩手大学教育推進機構規則第18条第2項の規定に基づき、岩手大学教育推進機構教育推進連携部門会議（以下「部門会議」という。）に関し、必要な事項を定める。

(審議事項等)

第2条 部門会議は、次に掲げる事項を審議するとともに、必要に応じて、教育推進機構会議への提言を行う。

- 一 教育推進連携部門に係る中期目標・中期計画及び年度計画に関すること。
- 二 学生（卒業生を含む）に対する各種調査、学修成果測定等に関する企画、実施及び報告等に関すること。
- 三 各種教育プログラムの点検評価の企画、実施及び報告に関すること。
- 四 各学部における教育改善に資する情報提供及び助言等に関すること。
- 五 ファカルティ・ディベロップメントに関する研修会・講演会、ワークショップ、公開授業の企画及び開催・実施並びに評価に関すること。
- 六 カリキュラム、授業科目及び成績評価方法の調査・開発等に関すること。
- 七 教養教育と専門教育の連携に関すること。
- 八 複数学部間にまたがる専門基礎教育の連携に関すること。
- 九 その他教育改善及び専門教育の全学的な連携に関すること。

(組織)

第3条 部門会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 部門長
 - 二 専任教員
 - 三 兼務教員
 - 四 各学部の教務関係委員会から選出された教員 各1名
 - 五 各学部のFD又は教育評価を担当する委員会から選出された教員 各1名
 - 六 学務企画課長及び大学院・専門教育課長
 - 七 その他部門長が必要と認めた者
- 2 岩手大学教育推進機構教育推進連携部門に岩手大学教育推進機構規則第12条に定める副部門長を置いた場合は、前項の部門会議の組織構成員とするものとする。

(任期)

第4条 前条第4号及び第5号の組織構成員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長及び副議長)

第5条 部門会議に議長を置き、部門長をもって充てる。

2 議長は、部門会議を招集し、主宰する。

3 部門会議に副議長を置き、議長が指名する者をもって充てる。

4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 部門会議は、組織構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。ただし、第3条第4号及び第5号のうちから1名以上の出席がなければ、会議を開くことができない。なお、第3条第4号及び第5号の組織構成員の代理出席を認めるものとする。

2 部門会議の議事は、出席した組織構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(組織構成員以外の者の出席)

第7条 部門会議が必要と認めたときは、組織構成員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 部門会議の庶務は、学務企画課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、部門会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年10月1日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

○東京農工大学グローバル教育院運営規則

(平成30年4月1日グ教規則第1号)

改正 平成31年4月1日グ教規則第1号

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人東京農工大学組織運営規則第5条の2及び第8条に基づき、東京農工大学グローバル教育院(以下「教育院」という。)の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 教育院は、国際教育交流に関する全学的事業の推進及び支援、教養教育の企画及び実施、入試戦略及び支援、その他全学に係る教育に関する業務を実施するための組織として、東京農工大学での教育活動を通して、農学又は工学の専門性を持ち、教養豊かで国際社会において活躍できる人材を育成することを目的とする。

(事業)

第3条 教育院は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 国際教育交流プログラムの企画・運営・実施、海外の大学との国際共同プログラムの確立及び海外の姉妹校との連携強化の取組に関すること。
- (2) グローバル教養教育の方針策定・企画・運営・実施、学生の英語力向上支援、教育評価及びファカルティディベロップメント(FD)の実施に関すること。
- (3) 入試出題管理体制の支援、入試に関する諸事項の調査・解析、入試方法の改善・立案並びに入試広報・国際広報の企画及び実施に関すること。
- (4) その他学長又はグローバル教育院長(以下「教育院長」という。)が必要と認めた事業に関すること。

(教育院長)

第4条 教育院長は、教育院の業務を掌理する。

- 2 教育院長は、副学長又は教育職員の中から学長が指名する者をもって充てる。
- 3 教育院長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、教育院長の任期の末日は、当該教育院長を指名する学長の任期の末日以前でなければならない。
- 4 教育院長が任期の途中で欠けた場合には、後任の教育院長の任期は、前任者の残任期間とする。

(副院長)

第5条 教育院に、グローバル教育院副院長(以下「副院長」という。)を置く。

- 2 副院長は、副学長又は教育職員の中から学長が指名する者をもって充てる。
- 3 副院長は、教育院長を補佐し、教育院長に事故あるときは、その職を代行する。
- 4 副院長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その任期の末日は、当該副院長を指名する学長の任期の末日以前でなければならない。

5 副院長が任期の途中で欠けた場合には、後任の副院長の任期は、前任者の残任期間とする。

(専任教員)

第6条 教育院に、第3条各号に掲げる事業を実施するため、専任教員を置く。

(兼務教員)

第7条 教育院に、専任教員と協力して第3条各号に掲げる事業を実施するため、農学研究院又は工学研究院を本務としたまま教育院を兼ねて務める教員(以下「兼務教員」という。)を置く。

2 兼務教員は、農学研究院又は工学研究院の推薦を受け、次条に規定するグローバル教育院運営委員会の議を経て、学長が発令する。

3 兼務教員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 兼務教員が任期の途中で欠けた場合には、後任の兼務教員の任期は、次条に規定するグローバル教育院運営委員会が個別に定めるものとする。

(運営委員会)

第8条 教育院の事業の運営のため、グローバル教育院運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置き、次の各号に掲げる事項を審議する。

(1) 教育院の組織に関する事項

(2) 教育院の人事に関する事項

(3) 教育院の予算に関する事項

(4) 教育院の計画及び評価に関する事項

(5) その他教育院長が必要と認めた事項

2 運営委員会は、次の各号に掲げる委員で構成する。

(1) 教育院長

(2) 副院長

(3) 次条第2項に規定する部会長

(4) 第10条第2項に規定するグループ長

(5) その他教育院長が必要と認めた者

3 運営委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は、教育院長をもって充て、副委員長は、副院長をもって充てる。

4 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長が必要と認めた場合は、副院長が委員長を代理し、運営委員会を招集し、その議長となることができる。

5 運営委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

6 運営委員会の議事は、別に定めのある事項を除き、出席委員の過半数の賛成をもって決するものとする。

7 運営委員会は、必要に応じ、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(部会)

第9条 教育院に、第3条各号に掲げる事業を部局等と連携して企画・立案するため、次の各号に掲げる部会(以下「部会」という。)を置く。

- (1) 国際教育交流プログラム部会
- (2) 教養・専門基礎教育部会
- (3) 入試検討部会

2 部会に、部会長を置く。

3 部会長は、兼務教員又は専任教員の中から教育院長が指名する。

4 部会について必要な事項は、別に定める。

(グループ)

第10条 教育院に、第3条各号に掲げる事業を実施するため、専任教員が所属する次の各号に掲げるグループ(以下「グループ」という。)を置く。

- (1) 海外リエゾングループ
- (2) グローバル教養教育グループ
- (3) アドミッション・専門基礎教育グループ

2 グループに、グループ長を置く。

3 グループ長は、専任教員の中から教育院長が指名する。

4 グループについて必要な事項は、別に定める。

(選考委員会)

第11条 教育院に、第8条第1項第2号に基づく教育院の専任教員の選考について審議するため、選考委員会を置く。

2 前項に規定する選考委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第12条 教育院に関する事務は、関係部局の協力を得て、学務課及び入試企画課において処理する。

(雑則)

第13条 この規則に定めるもののほか、教育院の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(平成31年4月1日グ教規則第1号)

この規則は、平成31年4月1日から施行する。